



ミュー News



男女がともにいきいきと輝き、
住んでいてよかったと思うまち「おおぶ」
住んでみたいと思うまち「おおぶ」の実現をめざそう

NPO 法人ミューぱらん・おおぶでは「住んでいてよかったと思
うまちおおぶ・住んでみたいと思うまちおおぶ」を目指して、様々
な活動を展開しております。

TMY の活動紹介 オリジナル朗読劇！



意見を出し合い、作品作り



DVをテーマにした
「サルカニバイオレンス」

昨年より TMY（チーム・みんなで・よろまい）では、男女共同
参画の啓発活動として、男女共同参画の視点を盛り込んだ「オリジ
ナル朗読劇」を作成しています。これまでに「かくや姫」「うらし
ま太郎」「つる女房」など作成しました。

現在作成中の新作は「一寸法師」。子どもの頃から慣れ親しんだ
昔話ですが、よくよく読んでみると、このままの内容で子どもや孫
に受け継いでいってもいいのかなと思われる事ごとに気づきまし
た。

そんな気づきを祖父母と孫の
会話の中にちりばめて作られ
ています。



「一寸法師」

温かみのあるオリジナルイラスト
で構成されています。



『リタイア後』
作:NPO法人ミューぱらん・おおぶ イラスト/安達

① 趣味もなく、
するところがない...
何しようかなー

② え!!
とほりの奥さんで
一緒よー!
買物行ってくるわね
おオレも行く
行くよ

③ 一寸法師
の話を
読んで
思い出
したよ
一寸法師
の話を
読んで
思い出
したよ
一寸法師
の話を
読んで
思い出
したよ

④ 濡れ落ち葉化!!
主婦魂のモーニング

みんな知ってる？

おおぶ男女共同参画プランV～エスポワールおおぶ～



「住みやすい、安心の街、大府市」の実現にむけて

少子高齢化の進行や人口減少社会の到来、不安定な世界経済や頻発する自然災害など、私たちを取り巻く社会環境は急速に変化しています。このような中、男女がその人権を尊重し合い、個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現が求められています。

大府市では、早くから男女共同参画社会の実現に向けての取組を実施しています。平成7年に策定した「大府女性行動プラン」をスタートに、その時々々の社会情勢に対応した改訂を重ね、平成15年におおぶ男女共同参画推進条例を施行するとともに、子育て支援の充実、DV被害者対策などの施策を実行しています。

本年度より社会環境の変化等に対応するため「おおぶ男女共同参画プランIV」を見直し、「おおぶ男女共同参画プランV」（平成28年～平成32年）が策定されました。

性別に関わりなくお互いを尊重することができる地域社会の形成に必要な基本課題



重点目標・重点プロジェクト

男女共同参画プランVでは、「大府市が目指す男女共同参画社会」を実現するために、「重点目標」を定め、特にプランV中に達成しておきたいと考える施策を「重点的に取り組む施策の方向」と位置づけ、その中で計画期間内に重点的に取り組む「重点プロジェクト」を設定しています。

重点目標1：固定的性別役割分担意識の解消

重点目標2：夫の家事・育児参加の促進



重点目標 1 : 固定的性別役割分担意識の解消

数値目標 : 固定的性別役割分担意識にとらわれない率

現状値の52.2%に対し、目標値を60.0%とします。

市男女共同参画アンケートの結果では、前回調査（平成19年）に比べて、固定的性別役割分担意識（夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである）にとらわれない率が47.4%から52.2%と4.8ポイント高くなりました。この結果は、国が平成24年に行った調査結果の45.1%よりも高いものです。本市の市民意識は固定的性別役割分担意識の解消の方向に変化しています。

しかしながら、固定的性別役割分担意識は、男女共同参画社会の実現に大きな障害であり、本市の男女共同参画を一層推し進めるため、「固定的性別役割分担意識にとらわれない率」の更なる向上を目指します。

重点目標 2 : 夫の家事・育児参加の促進

数値目標 : 家事メン率 現状値の9.5%に対し、目標値を20%とします。

イクメン率 現状値の26.5%に対し、目標値を35%とします。

家事メン率（家事を夫と妻が同程度分担している率）イクメン率（育児を夫と妻が同程度分担している率）

市男女共同参画アンケートで、家庭生活での夫婦の役割分担について11項目にわたって聞いたところ、ほとんどの項目で「主に妻の役割」との答えが多く、妻に負担が掛かっていることが分かりました。そこで、代表的な家事である、家庭での食事のしたく、育児（乳幼児の世話）の2項目を取り上げ、この2項目について、「家事・育児を夫と妻が同程度分担している率」の向上を目指します。



重点プロジェクト

1 固定的性別役割分担意識の 解消プロジェクト

市男女共同参画アンケートで、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」との考え方に「反対又はどちらかという」と反対」と答えた人が、平均値を下回った70歳以上の女性と50歳以上の男性の意識改革を行うため、70歳以上の女性と50歳以上の男性を対象とした固定的性別役割分担意識を解消するための啓発活動を行います。

2 夫の家事・育児参加の促進 プロジェクト

市男女共同参画アンケートによると男性の育児参加が必要であるという回答が男性で86.3%、女性で90.8%と非常に意識は高いものの、実際の行動にはつながっていないことが分かりました。したがって、実際の行動につながるための施策を実施していく必要があります。

プロジェクトとして企業や事業所を対象に、労働時間の短縮や育児休暇を取得しやすい環境整備を行うよう働きかけます。

大府市はこのプランに基づき、市民の皆さま、事業者・教育関係者の方々との協働により男女共同参画の推進を図ってまいりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

第11回 DVシンポジウム



STOP! DV

暴力のない社会を目指して

夫や恋人からの暴力「ドメスティック・バイオレンス（DV）」の実情について幅広く知ってもらうために、今年度もミュージアムにて「DVシンポジウム」が開催されました。11回目となる今回は「居場所を失った少女たち・「貧困」の中に生きる少女たちのリアル」というテーマで女子高校生サポートセンター・一般社団法人 Colabo 代表理事の仁藤夢乃さんを講師にお招きし、講演をしていただきました。

孤立・困窮する子どもたちの背景には何があるのか

居場所を失った少女たちの支援の現場から



仁藤 夢乃さん

「JK（女子高生）」を売りにする「JK リフレ」「JK お散歩」といった言葉を皆さんはご存知でしょうか？女子高生などの少女をだまし、売り物にするJK産業がここ数年で急速に広がっています。性被害や、売春、犯罪の温床になるような危険な場になぜ女子高生たちは足を踏み入れるのでしょうか？

仁藤さん自身も高校時代、月の大半を渋谷で過ごしていたといいます。家庭が安らぎの場所でなかった居場所のない自分の経験から、同じ思いをしている少女たちの支援活動をしています。支援活動を通し、見えてくる少女たちの背景にある様々な問題についてお話いただきました。

衣・食・住～関係性を失くした子どもたち～

温かい食事、安心して過ごせる居場所、子ども達が当たり前と与えられるはずの「安心した暮らし」を様々な理由で侵され、孤立する子どもが実はたくさんいます。親の貧困、暴力、病気など、複数の問題を多重に抱えていることも少なくありません。「自分たちはどこにも居場所がない」と思う子どもたちは、間違った自立心から、周りに「助けて」とSOSを出すこともできず、苦しんでいるのです。

そうした子どもたちが、信頼できる大人にも出会えず、見守る大人のない環境で生活するようになると、危険に取り込まれやすくなります。居場所のない子どもたちを狙う、リスクの高い違法な仕事、未成年の売春斡旋、暴力、予期せぬ妊娠や中絶、目をつぶりたくなるような現実がそこにはあります。

そんな子ども達を1人でも救うため、かつて仁藤さん自身が信頼できる大人との出会いで変わったように、出会う少女たちの伴走者となり、共に考え、泣き、笑い、怒り、歩む力となれるよう、「衣食住」を提供し、「関係性」を持ち、少女たちを危険から守る支援活動をしています。

仁藤さんは少女たちに、「あきらめないで、自分の可能性を信じて」と言い続けています。

私たちにできること
～必要なのは特別な支援ではなく当たり前の日常～

～子どもにとって、大人は環境問題～

「大人はわかってくれない」「信用できない」という声の裏には「向き合ってくれる人がいない」「信じてくれる人がいない」という想いが込められていると思います。必要なのは特別な支援ではなく「当たり前の日常」なのです。「おはよう」「寒いね」「気をつけてね」など、些細な声かけでも、誰かの心を救うことがあるのです。私たちも、出来ることから始めてみませんか？皆さんの小さな一歩が、未来を担う子ども達を救うかもしれません。



難民高校生 — 絶望社会を生き抜く「私たち」のリアル—
高校時代、私は渋谷で月 25 日を過ごす「難民高校生」だった。妊娠、中絶、DV、リストカット、自殺未遂・・・私の周りには、そんな子がたくさんいた。
人生に絶望した私の前に現れたのは、一人の講師だった・・・

女子高生の裏社会 — 「関係性の貧困」に生きる少女たち—
「うちの子には関係ない」「うちの地域は安全だ」そう思っている大人にこそ、読んでほしい。少女たちの本音から、解決策を探る。



ミューいしがせ相談室

女性の悩みごと電話相談

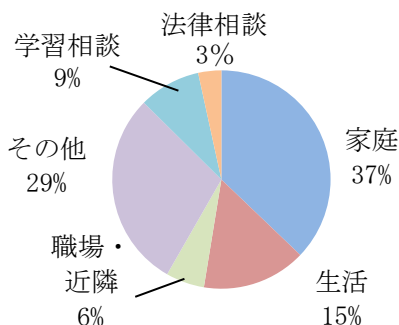
電話番号: 0562-44-9117

女性が直面する様々な悩みについて、相談員が解決のための一歩を踏み出す応援をしています。ひとりで悩まず気軽に電話下さい。

◆ 相談件数 ◆

	9月	10月	11月
電話	42	30	43
面接	20	15	16
その他	1	1	7

相談件数 (内 DV 76 件)



専門相談員による女性のための面接相談日

- ※ 1月 16日(月)・30日(月)
- ※ 2月 6日(月)・20日(月)
- ※ 3月 6日(月)・21日(火)

弁護士による女性のための法律相談日

- ※ 1月 11日(水)
- ※ 3月 8日(水)

面接相談・法律相談は予約制です。



ウィメンズハウスあゆみが 県より表彰されました！

男女共同参画推進活動の長年の功績が認められ
ウィメンズハウスあゆみが愛知県より表彰を受けました。





みんなで楽しむ

収穫祭！芋掘り＆交流会

11月5日（土）、秋晴れのこの日、「レディースカレッジ」「メンズカレッジ」「子育てサロン」「自分力UP講座」そしてメンズカレッジの卒業生による自主グループ「男楽会」の合同による「収穫祭～芋掘り＆交流会～」が行われました。芋掘りは例年行われていますが、全講座合同でこのような交流会をするのは初めてです。

まず初めに、「子育てサロン」「自分力UP講座」と「男楽会」のメンバーが畑へ芋掘りに行きました。男楽会のメンバーに芋掘りのコツを教してもらいながら、子どもたちは大喜び。土の感触を喜んだり、虫に驚いたり、普段できない体験を楽しんでいました。

子ども達が芋掘りを楽しんでいる頃、石ヶ瀬会館では、「レディースカレッジ」と「メンズカレッジ」がお昼ご飯の準備。「メンズカレッジ」の名物コロッケをはじめとし、おにぎり、みそ汁、かぼちゃの煮物、さつまいもスティックなど、豪華なメニューが用意されました。その後、石ヶ瀬会館のホールに全員集合し、手づくりの昼食を囲んで、みんなで交流会をしました♪♪普段、なかなかお話しする機会がない講座生同士、楽しい交流の場となりました。

美味しいご飯を囲んで交流会♪



お天気の中、楽しく

芋掘り♪



講座生の感想

☆天気もよく、たくさんの芋が掘れて大満足です。お昼ご飯もとても美味しくてさつまいもレシピが増えました。子ども達も完食できました。（20代 女性）

☆家族で芋掘り体験ができ、とても楽しかったです。コロッケや料理もとても美味しかったです。（30代 男性）

☆楽しく有意義な時間を過ごせました。コロッケ美味しかったです。メンズカレッジの方に夏祭りのことを教えてもらったので、来年は参加しようと思いました。（30代 女性）

☆交流がとても楽しかった。合同料理教室とかあったら面白いと思いました。（30代 女性）

☆世代間交流ができたことがよかったです。（60代 男性）

☆知らない方との交流は勉強になって良いと思う。準備して下さったみなさんの努力に感謝。

（60代 女性）



ファミリーカUP講座 食育講座

いのちをいただきます～料理教室～

11月12日(土)に大府野菜ソムリエ・ベジポックルの高田美佐さんをお迎えし、親子の料理教室を行いました。

「いただきます」ってどういう意味なのか。

何故ごはんはきちんと食べないといけないのか。

冷凍食品やファストフードであふれる現代、ごはんが何からできているのか、食を見直すきっかけとして企画されたこの講座には、たくさんの親子が参加してくれました。

まず「いただきます」の意味や食材についてのお話を聞きます。どんな栄養があるのか、何と一緒に食べれば効率よく吸収できるのか、お肉はどれも同じではなく部位によって違うこと、また大豆はどのように成長してどういった加工食品ができるのかなど詳しく教えていただきました。

その後は親子で調理実習！メニューは「いわしハンバーグ・豚汁・大豆とツナのサラダ・青菜と柿の白和え・芋けんぴ」ととっても豪華!!



子どもたちの感想。
「いのちをいただくのはたいせつです。」



パパたちも頑張りました!

いわしハンバーグは生のいわしを手開きするところから作ります。子どもたちにとっては初めての手開き! 難しいかと思ったら意外にもどの子ども達も、これが楽しかったようで、ワイワイ盛り上がりながら調理が進みました。

パパ達も参加してくれ大奮闘! 「普段家ではやらないです。今後は頑張ります。」と頼もしいひと言。

お料理ができるとみんな揃って『いただきます』

いつもより心をこめて言えたんじゃないかな?

命あるものからいただく『ごはん』大切さをかみしめて今後もしっかり食べていってほしいですね。



パパカUP講座

～笑顔のお父さんになろう～

来年度
新講座のご案内♪

パパのための講座が、来年度石ヶ瀬会館で新しくスタートします。

子育てや家族とのコミュニケーションをもっと楽しみたい、お父さん同士の繋がりを作りたい、パートナーとの関係や自身の働き方を見つめ直したい、いろいろな想いから生まれた講座です。

① 男の知らない女の事情

始めの一步 パパ&プレパパ講座

～夫婦カUP・ママのこころを理解しよう～

ホルモンの変化によるママの微妙なこころの状態をパパが理解することにより、どのようにママと接し、ママのこころのフォローができるのか、どのように育児・家事参加ができるのか、考えるキッカケにする講座です

② 子どもとどうやって遊ぶ?

“たのしい!”を伸ばそう
～紙コッスアート～

③ 仕事と生活・パパの贈り物

ワーク・ライフ・バランス

～パートナーと共に歩む最良の生活～

～男の輪を広げよう・パパ座談会～

④ 子どもと物づくり♪

親子で作って楽しもう・伝承遊び
～いしがせファミリーフェスタ
&流しそうめん～

⑤ 実技編!

家事男子になろう

～アテにされる家事・お掃除編～



是非ご参加下さい♪

＊ふれあい広場～みんなが集う、学ぶ、語り合う場 ミューいしがせ～

これだけは知っておこう 介護保険の基礎知識

介護保険について、みなさんに広く知っていただくために、NPO主催で介護保険講座を開催しました。介護保険料を納めているのに、介護保険制度のことがよくわからない?? そんな方のために「介護保険制度のしくみ」「介護保険料」「介護サービス」「介護予防サービス」などについて詳しく学びました。



介護保険はみんなで支えあう制度です。

介護保険制度は、市町村が保険者となって運営しています。40歳以上の方が加入し、保険料を納め、介護が必要になったときには、費用の一部を支払ってサービスを利用できるしくみです。

地域の高齢者の様々な相談にお答えします。お気軽にお問い合わせください。

高齢者相談支援センター
(大府包括支援センター)
☎0562-45-5455
ふれあいサポートセンター内



たくさんの方が参加して下さいました。

年末大掃除について

12月10日(土)に毎年恒例の石ヶ瀬会館の年末大掃除を行いました。各利用団体の皆さまにご協力いただき大変きれいになりました。ありがとうございました。



＊会 員 募 集

新年度の会員募集を3月から行います。ご協力よろしくお願いたします。



ご意見・ご感想を
ミューぷらん・おおぶ
までお寄せ下さい。
問合せ先のTEL・
FAXまでどうぞ!



NPO法人

ミューぷらん・おおぶ

問合せ先 〒474-0035
大府市江端町4-1 石ヶ瀬会館内
TEL: (0562) 48-0588
FAX: (0562) 44-9144

HPアドレス: <http://www.medias.ne.jp/~myuplan/>
Eメール: misigase@ma.medias.ne.jp